



穂の国・豊橋ハーフマラソンで、路面電車と並走するランナーたち。25日、愛知県豊橋市で

## 路面電車と

## 春感じ走る

穂の国・豊橋ハーフ

第九回穂の国・豊橋ハーフマラソン（愛知県豊橋市、中日新聞社など主催）が二十五日、豊橋市陸上競技場を発着点に行われた。二十九都府県から過去最多の四千七百二十一人が出場し、春の街を駆け抜けた。午前十時のスタート後に

は気温が一五度を超える陽気の中、参加者は路面電車が行き交う市街地や桜並木、豊川堤防などを力走。補給所では特産のミニトマトを頬張り、ゴール地点では「当地グルメ」豊橋カレーうどん」などの屋台で舌鼓を打った。今回から日本陸上競技連盟の公認コースとなり、来年は公式タイムが残る公認大会になる予定。



# 完走へ 背中押す声援



和太鼓をたたきながらランナーに声援を送る応援団＝豊橋市牛川町で

## 和太鼓響かせ「頑張れ」

○…コース終盤の豊 背中を押した。  
川沿いには、和太鼓を 応援団は太鼓の音を 中心とする市民らの応 遠くまでとどろかせな 援団がずらり。十三団 ながら、時折「頑張れ」 体が演奏などで選手の 「行け」と声援を送っ

## 給水所に「ちくわ」

ヤマサ従業員25人

○…地元の食品メーカー「ヤマサちくわ」の従業員25人は、ゴールまで2ヶ所地点に給水所を設けて、選手をサポートした。水やスポーツ飲料を用意し、従業員がちくわの形をした着ぐるみを着て声援を飛ばした。

給水所のリーダーとなった田中紀充さん(28)は「ゴール間際なので、最後まで完走できるよ

う激励したい」と給水や応援に汗を流した。ゴール地点では、同社の「豆ちくわ」が選手に配られた。



ちくわの着ぐるみを着て応援するヤマサちくわの従業員ら＝豊橋市の豊川河川敷で

た。東栄町の神事で親で励ました。しまれる神鬼も登場。完走した豊橋筆職人し、選手をハイタッチの中西由季さん(20)。

豊橋市上野町は「終盤はきつかったが、太鼓の応援で心が豊かになった」と感謝していた。



ドイツ・ヴォルフスブルグ市から参加したドラーさん(左)とメスコさん(右)＝豊橋市今橋町の豊橋市陸上競技場で

独ランナー2人 「景色がきれい」  
○…豊橋市が友好協定を結ぶ独ヴォルフスブルグ市からヴィンセント・ドルラーさん(三)とミリアム・メスコさん(三)の二人がゲストランナーとして出場した。

1時間47分でゴールしたドルラーさんは部門百五位、1時間46分のメスコさんは部門十六位と健闘。二人は「次はコースを自転車で回りたい」「町の中心地と郊外の畑の調和した景色がとてもきれいだ」と喜んだ。

「陸王」ブースに ドラマの品並ぶ  
○…豊橋市陸上競技場前には市内で撮影されたドラマ「陸王」のブースが登場。「こはぜ屋」と記されたはんてんや「豊橋国際マラソン選手権大会」をPRするゲートなど、ド



ドラマにちなんだ品々が並び、撮影中の様子を収めた写真も百枚以上展示された＝写真。

競技場周辺では、ちくわや五平もち、アユの塩焼きの販売ブースも。カレーハウスCOCO(ココ)や番屋と共同で豊橋カレーうどんを販売した豊橋観光コンベンション協会の西村なぎささん(左)は「炭水化



式では、司会を務めたエフエム豊橋のチャリーさんが「皆さん速いですね」と称賛。選手が表彰状を受け取る度に、集まった人たちが大きな拍手を送っていた。

物たっぷりなので、エネルギー補給にはぴったり」と購入を呼び掛けていた。  
各部門上位3人 表彰状に大拍手  
○…表彰式では、佐原光一市長らから各部門の上位三人に表彰状やトロフィーが贈られた＝写真。五分の米も副賞として手渡された。



# 春の光浴び市民力走

## ゆかりの選手ら完成祝う 新陸上競技場



陸上競技場スタンド完成式典であいさつする鈴木さん(右)と船井さん(左端)、岩水さん(前列左から2人目)＝いずれも豊橋市今橋町の豊橋市陸上競技場で

○開会式前には、今大会がこけら落としとなった豊橋市陸上競技場の完成式典があった。佐原光一市長は「健康づくりでも競技カアップでも、笑顔で帰れる施設にしたい」とあいさつした。

リオデジャネイロ五輪代表の鈴木亜由子さん(日本郵政グループ)のほか、東京五輪代表の船井照夫さんやアテネ・北京五輪代表の岩水嘉孝さんら、豊橋ゆかりの新陸上選手が駆け付けてテープカットした。

一新されたスタンドは、準備中のランナーや観客でいっぱい。大会に参加したバート児玉恵子さん(金沢)同市つつじが丘は「観客席がすくきれいで自慢できる」と声を弾

ませた。

トレーニングマシン(2台)は「運動して疲れやクロススクリーンコースなどの設備も公開につかりたい」と話された。同市多米町の

看護師江川実奈代さん



開会式に出席し笑顔で話す増田さん(右)と鈴木さん

### 増田さんら走って交流

○ロサンゼルス五でね」と激励。鈴木さんの女子マラソン日本人も「最高の一日にしましょう」と呼び掛けました。

増田さんは五年ぶりに出場選手と一緒に走って交流。鈴木さんは、五\*ほどと選手とも走った後、陸上競技場でゴールに向かう選手とハイタッチし、「あともう少し、頑張れ」と応援した。

開会式では、増田さんがリニューアルされた市陸上競技場にちなんで、「自分をリニューアルするよつに走れ」と応援した。

ほころんだ桜が一気に花開く陽気の中、豊橋市で二十五日に開かれた第九回穂の国・豊橋ハーフマラソン(豊橋市、東三河陸上競技協会、中日新聞社主催)。市民ランナーたちは地元企業のボランティアの支援と、沿道の声援に励まされながら、額の汗をぬぐって力走した。

### 穂の国・豊橋ハーフマラソン



穂の国・豊橋ハーフマラソンで一齐にスタートするランナー

第九回穂の国・豊橋ハーフマラソン(豊橋市、東三河陸上競技協会、中日新聞社主催)は二十五日、皆さまの温かい声援の中、無事終了しました。開催に当たり、多大な支援、協力を賜りました関係各位ならびに沿道周辺の皆さまに厚くお礼申し上げます。

中日新聞社